

史實調査參考資料報告

摘要

所屬部隊
(固有名称)

重砲兵第六聯隊

職官

大隊長

全右所在地

鹿兒島縣大島郡古仁屋町

氏名

陸軍中尉

終戦時ノモノヲ
記ス

支那事變以降ニ
於ケル自己ノ略
歴

昭和十七年一月十日 西村第七十二部隊編成トシテ入營
自昭和十七年五月十日 陸軍野戦砲兵学校
昭和十八年二月十五日 重砲兵第六聯隊ニ轉属
昭和二十一年十一月三十日迄 鹿兒島大島ニ防衛警備

職ノ變更及主ナ
ル参加戦闘名ヲ
記ス

所在部隊ノ編成
年月日及編制裝
備ノ概要

編成年月日 昭和二十一年九月十七日
編成裝備 編成部隊ハ大隊本部ニ中隊六
及編成改定ニテ野戦本部ニ中隊四トシ
裝備 二十八榴四十六二十加四
野砲六

所屬部隊作戦經
過ノ概要

一 奄美大島ニ防衛警備
二 陣地構築

最後ノ所屬部隊
ヲ主ニシ向ソノ
以前ノ所屬部隊
ノ分ヲモ併記ス

終戦(又ハ主力
ノ戦闘終了)
後ノ概況

一 兵器器材ノ運納
二 復員

歸還輸送ノ状況
ヲモ併記ス

先
歸郷(又ハ連絡)

其ノ他ノ参考事
項

備
考

將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス

史実調査参考資料報告

摘要

所属部隊 重砲兵第六聯隊

職 中隊長 陸軍大尉

右所在地 奄美大島

氏名

大田 昭

陸軍士官學校卒業

昭十七年三月十日

陸軍重砲兵學校卒業

昭十八年三月六日

奄美大島重砲兵聯隊赴任

昭十八年五月二十日

任陸軍少尉

昭十九年八月一日

任陸軍中尉

昭和二十年六月十日

任陸軍大尉

被命中隊長

編成年月日 昭和十六年九月二十日

所屬部隊

主要火砲

編制裝備 重砲兵第六聯隊

聯隊本部

第一中隊 十五加三門 野砲一門

第二中隊 十八加四門

第三中隊 野砲四門

第四中隊 十加三門 野砲三門

右外各隊若干 重砲機

小銃迫擊砲(自隊製)甲波

彈藥等若干有之

前記編成裝備及び各砲台於航行中

船廻援護大島海峡防備(含防空)

戰況

各隊守備地ニ於テ現地自活作業、
近村復興援助、農繁期援助、
兵器返納、事務整理等ヲ實施シ、
主力八十二月二十日迄ニ復員ス

其地

防務

復員